

南関町教育長だより

道

第7号 R6.11.14



秋の夜長、読書に浸るのもいいものです。

学力向上研究協議会

南関町教育委員会では、「児童生徒の学力向上と心豊かであらうましい人間性を育成すること」を目的に本協議会を設置し、年間五回の会議と各学校での授業実践と公開授業、委員の研修視察等を行っています。

令和六年度は、「Society5.0に向けた新しい学校教育の創造」とした教育委員会の重点事業の一つとして、次の四つの柱を設けて取組を進めています。

- ① 資質・能力を目指す授業改革をもう一步踏み込んで推進
- ② タブレット端末及び教育データの授業・家庭学習での日常的利活用
- ③ 支え合う温かな学級風土・学びに向かう集団の形成・可視化を全学級で実現、推進
- ④ 学校運営協議会、地域学校協働活動と一体化した資質・能力の育成

これまでに、本町での授業づくりにおける共通実践事項や各学校の取組を共有する時間を設けたり、各学校の担当者同士で実践上の悩みを話し合う時間を取ったりしてきました。これから、第四小学校の研究発表（十一月十五日）や第一小学校の中間発表（一月十七日）を踏まえて町内全教職員が共通理解し、研究協議会の取組がより一層深まっていくことを期待しています。

今日の論語

子曰く、「我れ三人行えば必ず我が師を得。その善きも
者を選びてこれに従う。その善かざる者にしてこれを改
む。」

（意味）先生が言われた、「私は三人で行動したら、きっとそこに自分の師を見つかる。善い人を手本として見習い、善くない人にはその行いが自分について当てはまらないか見直すからだ。」

最近、人の行いにはそれぞれ意味があることを考えるようになりました。善悪の行動には、そこに至る過程や背景があります。現象を評価するだけでなくその裏側を考えることで、人生へのヒントを得ることができると考えます。

町立学校のあり方検討委員会 が開催されました。

11月13日に第1回の会議が開催されました。辞令を交付した後、委員長・副委員長を選出し、谷口慶志郎委員長、末竹信雄副委員長に就任いただきました。続いて谷口委員長に諮問書をお渡しし、協議を行いました。今回諮問した内容の概略は、次のとおりです。

- 1 南関町の子どもたちの将来像について
- 2 町立小学校の適正規模・適正配置について
- 3 小中連携した教育について
- 4 地域における小学校の役割について
- 5 上記4項目に伴う様々な課題改善について

これから、委員の方々には約1年半の期間において諮問内容について意見交換をし、答申をまとめていただきます。

会議の内容は公開としていますので、関心のある方は遠慮なく傍聴にお出でください。次の開催は、年が明けて2月に予定しております。



ホームページにて開催日をお知らせしますのでそちらをご覧ください。

また、議事録も随時ホームページに掲載する予定です。